

- 個人の適正を見極め、「適材適所」で責任を持ち業務を行える社員を育成
- 他産業並みの労働環境を整備し、従業員の満足度と定着率が向上

概要

【設立】 2013年2月

【代表者】 柳沢 義一

【売上】 5,750万円

【事業内容】 水稲、大豆、ネギ、キャベツ

【経営面積】 水稲80ha、大豆20ha、
ネギ13ha、キャベツ3ha

【主要取引先】 JA、大手商社等

【従業員数】 正社員7名、季節雇用40名(延べ)

【ホームページ】 <https://suehiro-farm.net/>

人材育成等の特徴的な取り組み

【人材育成】～各種免許取得を法人が全面的にバックアップ～

- ・将来の責任者(課長、部長)への登用を見据え、1年目は作目を絞らず、基礎的な栽培スキルを習得。2年目以降は、本人の希望や適性を見極めながら、全額法人負担で各種免許(米の検査員、大型特殊、フォークリフト)の取得に加え、栽培計画策定等の経営に関わる研修を実施している。
- ・現在、入組5年目を迎える過去の『農の雇用事業』の研修生が課長となり、代表とともに後輩の指導にあたっている。

【雇用就農者の待遇】～賃金テーブル等の設定～

- ・人材確保という観点から、安心して長く従業員に働いてもらうために、賃金体系の整備として賃金テーブルを作成。併せて割増賃金も設定し、他産業並みの労働環境を整備。従業員の就労意欲と定着率の向上につながっている。

キャリアプランイメージ

OJT(4年:雇用就農資金活用)

- ・基礎的な栽培管理技術の習得
- ・大型特殊自動車免許等各種免許取得

課長(5年目～)

- ・栽培計画の立案・管理
- ・生産資材等の注文・管理
- ・人材の育成

部長(7年目～)

- ・経営計画の策定・執行
- ・人材の育成・確保

